

# 日刊建設産業新聞

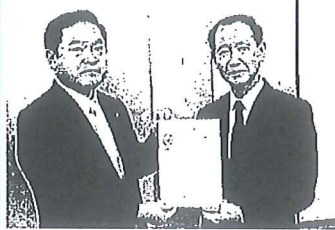
2010年(平成22年)12月24日(金曜日)

## 6事業場をコスモス認定

### 新規はナカノフドーなど3社

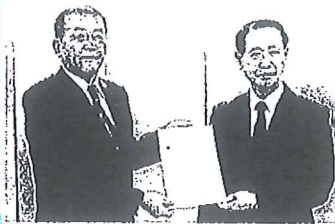
#### 建 災 防

建設業労働災害防止協会(銭高一善会長)は、6つの建設事業場に対する建設業労働安全衛生マ



ネジメントシステム「C OHSMS(コスモス)」の認定を決定し、22日、東京・港区の建設防本部

でコスモス認定証交付式を執り行った。

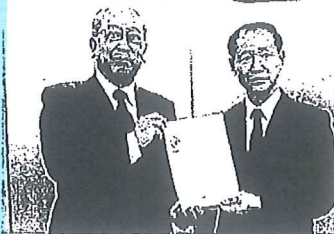


今回は、認定を取得したのは、株式会社北海道支店、りんかい日産建設九州支店、宮坂建設工業、旭建設、五洋建設四国支店、ナカノフドー建設東京本

店。

このうち新規取得は、ナカノフドー建設東京本店、りんかい日産建設九州支店、宮坂建設工業の3社。交付式で建設防の伊藤正人事務局長(写真右)は、新規3社の代表者に認定証をそれぞれ手渡した。

交付式後の会見で、ナカノフドー建設の迫取締役(左)、りんかい日産建設の天野取締役(左)、宮坂建設工業の高道常務取締役(左)



上からナカノフドー建設の迫取締役(左)、りんかい日産建設の天野取締役(左)、宮坂建設工業の高道常務取締役(左)

カノフドー建設の迫宗和取締役専務執行役員(東京本店)は、人命尊重を最優先する同社の方針に基づき安全活動に力を入

れ、7年前から独自のシステムを導入していたことを説明。その取り組みや社員の意識も醸成されたと判断し、今回の取得に踏み切ったと言う。今後は「大阪、名古屋でもコスモス認定を乗年中に取得したい。早い形で全社での導入」を目指す考えを示した。

りんかい日産建設の天野秀取締役執行役員(九州支店)は、07年からシステムを導入していたが、今年度から九州地方整備局のいくつかの案件で、こうしたシステムの導入状況が総合評価の加点項目になったことも、コスモス取得のきっかけにな

ったことを明らかにした。「安全に対する社会の目」は厳しくなっており、この取得を励みに事故撲滅へ、一歩先の取り組みを進める考えを示した。

宮坂建設工業(北海道帯広市、宮坂寿文社長)は、社長が出席できなかったため今回の取得にあたりメッセージを寄せ、今後はコンプライアンス経営宣言に基づき予防安全の徹底などに尽力することに言及。特に、事故はヒューマンエラーに起因するものが多いため「ヒューマンエラー防止に万全を尽し、地道な安全活動を繰り返し行う考えを示した。

なお、今回の認定により、コスモス認定件数は50件(32社)となった。